

2002年1月1日から2025年12月1までの期間に 当院眼科でぶどう膜炎と診断された患者さんへ

現在、当科では「ぶどう膜炎の原因・診断・治療・予後の統計的研究」（承認番号M2023-126番）を行っております。これはぶどう膜炎の原因と眼所見、問診・各種検査結果の相関を解析し、ぶどう膜炎の原因診断に有用な因子となりうる眼所見、問診、各種検査の組み合わせを調べることを主な目的としている研究です。（研究期間：医学系倫理委員会承認後から2028年3月31日まで）本研究は本学の倫理審査委員会の承認と機関の長の許可の下実施されます。

研究責任者：東京科学大学病院 眼科 准教授 鴨居 功樹

この研究では住所・氏名など、患者さんの個人情報が使用されることはありません。しかし、もし、診療情報の使用にご了承いただけない場合には、主治医または下記連絡先にお申し出ください。ご了承いただけない場合においても、患者さんが今後の治療上の不利益を受けることはありません。

しかし解析中あるいは研究結果が論文などで公表されている場合には、その結果を廃棄できない場合がありますのでご了承下さい。

1. 調査の対象となるのは、2002年1月1日から2025年12月1までの期間に、当院眼科外来に通院したぶどう膜炎患者さんです。年齢、性別は問いません。
2. 本研究にご協力いただいた場合も当院で行っているぶどう膜炎に対する診察治療に一切の変更はありません。本研究へご協力をいただけない場合も、診療において、一切、不利益を被ることはありません。すでに施行された問診、全身検査などの結果と、これまでの診療の記録の解析ですので、合併症の危険性はありません。また、本研究に参加しても特に何か特別にして頂くことはなく、費用負担や謝金はありません。
3. 患者の2002年1月1日から2025年12月1日の診療録より、最終診断名、眼所見（視力、眼圧、細隙燈顕微鏡検査所見、眼底所見、蛍光眼底造影検査所見、OCT検査所見など）、問診内容、検査所見（血算、生化学、抗体価などの採血結果、検尿結果、放射線およびMRIなどの全身画像検査等、髄液検査結果）、治療内容、有害事象、予後などの臨床経過を調べます。
4. 本研究で得た情報は、パスワードロックしたエクセルおよびワードファイルで作成し、眼科研究室のインターネットに接続しないコンピュータ上に保存し、保存期間は論文発表後10年とし、電子媒体で保存したものは、完全に抹消し、紙媒体のものはシュレッダーで破棄します。また、この研究で収集された情報・データは本研究以外の目的では使用致しません。
5. 本研究について質問あるいは疑問がある時は、いつでも主治医（担当医）にお聞きください。さらに下記連絡先に問い合わせることができます。

6. この研究の成果は国内外の学会や科学専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前や個人を特定する情報が公表されることではなく、個人情報は守られます。
7. 本研究は本学への寄付金（91AA192989・鴨居功樹）を用いて行われます。本研究を実施するにあたり特定企業との利害関係はありません。研究の実施にあたっては、利益相反マネジメント委員会において審議され、適切であると判断されております。
※利益相反とは、研究者が企業など、自分の所属する機関以外から研究資金等を提供してもらうことによって、研究結果が特定の企業にとって都合のよいものになっているのではないか・研究結果の公表が公正に行われないのでないかなどの疑問が第三者から見て生じかねない状態のことを指します。

問い合わせ等の連絡先：

東京科学大学病院 眼科 准教授 鴨居 功樹

〒113-8519 東京都文京区湯島 1-5-45
電話：03-5803-5302（ダイヤルイン）（平日 8：30～17：15）

苦情窓口：東京科学大学 研究推進部 研究基盤推進課 生命倫理グループ
03-5803-4547（対応可能時間帯 平日 9:00-17:00）

※他の研究参加者の個人情報や研究の独創性の確保に支障が生じない範囲内で、研究計画書や研究の方法に関する資料を閲覧することができます。ご希望の際は、上記の研究者連絡先までお問い合わせください。